

# たかさう 連携だより

2022年発行  
第189号  
10月号

榛名神社  
(双龍門)

診療科紹介 放射線診断科 ..... 2

放射線診断科部長 根岸 幾

クリニカルパス委員の活動 ..... 3

クリニカルパスワーキングチームリーダー 外科 坂元 一郎

リハビリテーション室だより ..... 4

臨床検査科だより ..... 5

医師紹介コーナー ..... 6

地域医療連携登録医のご紹介 ..... 7

セカンドオピニオンのご案内 ..... 8~9

外来診療担当表 ..... 10~11

院長閑話/行事などのお知らせ ..... 12

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構  
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36  
代表 (TEL) 027-322-5901  
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)  
(TEL) 027-322-5835  
(FAX) 027-322-5925

## 【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

## 【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

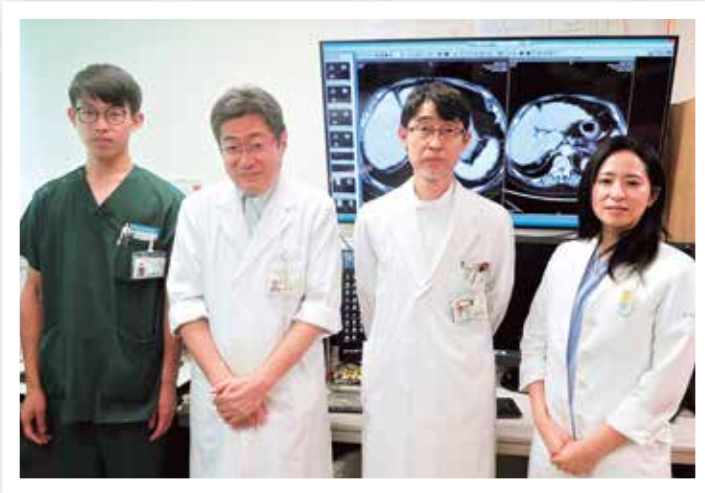
## 【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

## 【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

# 放射線診断科の紹介



放射線診断科部長 根岸 幾

放射線診断科を紹介させていただきます。2006年4月から画像診断業務の科として開設させていただきました。はじめは診療放射線科、その後2010年に放射線診断科を標榜しておりますが、2012年から画像診断センターとなりました。院内では画像診断科に変更しております。

CTだけ見ましても、2006年当初は年間12,000件程度でしたが、現在は27,000件ですので2.5倍の検査規模になっております。しかしながら人員は2倍ですので、業務量が超過気味なのは否めません。群馬県の西半分からの三次救急症例が集まってまいりますので、最後の砦として日夜孤軍奮闘しております。

毎日の業務は平均でCTの読影が105件、MRが35件、核医学が5件です。総数145件程度です。そのうち救急症例が30件程度です。週2例程度のIVR（CTガイド下生検や外傷などの緊急血管止血術）があります。

CTでは、デュアルソースCTが2台設置されており、心臓CTの作成や肺塞栓症に対する肺血流の評価のできる検査（アイオダイナマップ）が施行され、救急医療に一役買っております。大腸内視鏡の入らない方に対してはCTコロノグラフィーという、仮想大腸内視鏡を行っております。

MRでは通常の検査に対して、脳領域でMSスペクトロスコピー、心臓MR、全身拡散強調画像検査が行われています。事前診察にパスされた方にはMR対応ペースメーカー装着中撮影にも対応しております。

核医学検査では通常の診断検査としてダットスキャン、オクトレオトイドレセプターイメージスキャンなども行っております。核医学治療としては、甲状腺癌全摘後の外来アブレーションや骨転移のみの去勢抵抗性前立腺癌の<sup>223</sup>Ra塩化ラジウム治療（ゾーフィゴ治療）も行っております。

当院で行っている画像検査は共同利用でご利用いただけますので、ぜひともご紹介を頂ければと考えております。

現在コロナ感染症の蔓延があり、当院ではBOX\_CT（全国で第1号機）を戸外に設置し、導線を分離して感染を防ぐべく2年以上CT業務にあたっております。

# クリニカルパス委員の活動

クリニカルパスワーキングチームリーダー  
外科 坂元 一郎

当院では、クリニカルパス（以下パス）を積極的に使用することで、医療の標準化（最適化）を目指しています。

患者さん用のパスは、A3紙面の予定表で、入院診療計画書としても活用しています。患者さんの日々の目標や検査、治療（手術・注射・内服など）、食事、活動範囲、指導（栄養・薬剤・リハビリなど）などを記載しています。入院前に、外来・患者サポートセンターで、患者さん・ご家族へお渡しし、医療者と患者さんで診療計画を共有します。いつ食事ができるのか、歩けるのか、痛み止めの方法やお薬、入院期間など、患者さんが知りたい内容を盛り込み、診療への意欲を励起できるように担当者が工夫を凝らしています。ご家族にも、各指導や退院の予定日をお伝えすることで、来院の調整に役立てていただいています。

医療者用のパスは電子カルテです。パスは専門知識を持つ多職種との検討を経て、パス委員会で承認されています。医師・看護師で作成した下書きを元に、薬剤師や栄養士、技師、療法士などのほか、感染管理チーム、栄養サポートチーム、急性疼痛管理チーム、医療安全管理室などと検討して、病院のお墨付きをもらったパスが、患者さんに適用されるのです。私たちが目指す標準化は、画一化とは異なります。患者さんはそれぞれ併存疾患など背景が異なりますので、患者さんの病状に合わせて適宜変更します。パスに設定した日々の目標（アウトカム）を評価することで、患者さんの回復過程や課題が明確になります。

パスは、作成時に最適と考えた診療計画ですが、医療は絶え間なく進歩しています。各種ガイドラインに合わせた修正や、患者さんのアウトカム達成度やオーダー変更などのバリエーション分析を元にした改訂を行っています。これらの活動を推進しているのが、多職種で構成するクリニカルパス委員です。日本クリニカルパス学会の指導者・認定士もあり、当院へ見学に来られた施設への対応や他施設での講演など、病院内外で活躍しています。

少し広い視野で述べると、パスはDXにも重要な役割を果たしています。電子カルテでは、各種データの収集が容易になりました。しかし従来からの文章入力された診療録は解析には不適です。患者さんの目標達成度や評価基準を明確にした、現在のパスのような客観的・経時的な記録が求められます。近い将来、パス記録は病院の垣根を超えたビッグデータとして、医療の向上に役立つと期待されています。



# リハビリテーション室だより



## 軽度認知障害

理学療法士 眞道 幸江

作業療法士 石塚 裕大

厚生労働省の報告によると、現在日本の65歳以上の認知症患者は約600万人、2025年には約700万人（高齢者の約5人に1人）になると予測されており、高齢社会の日本では認知症の予防が重要な課題となっています。

皆さんは**軽度認知障害** (Mild Cognitive Impairment ; MCI) という言葉をご存じでしょうか？ MCIとは認知症になる一歩手前の段階で、正常な状態と認知症の中間と言われ、日本に400万人いると推測されています。MCIでは認知症と同じような症状は出ますが、自覚があり普通の生活に支障をきたすほどではありません。しかしMCIと診断された方の約半数が5年以内に認知症へ進行すると言われていています。最近の研究ではMCIの段階で適切な予防や治療を行うと、認知症の発症や進行を遅らせることができると分かっています。

### MCIに見られる生活障害の一例



- 昔から知っている物や人の名前が思い出せない
- 段取りが悪くなる、時間がかかる
- 物の置き忘れ、しまい忘れが増える
- 同じこと何度も言う、聞く
- 気力の低下、身なりや環境に無頓着、好きだった趣味を止める
- 状況や説明が理解できなくなる、テレビ番組や話についていけない
- 運転などのミスが多くなる

程度が軽く、  
助けがいないのが  
特徴

MCIの予防には、バランスの良い食事や良好な睡眠、適度な運動、社会的な孤立を避けて人とコミュニケーションをすること、余暇活動などで脳を活性化させることが挙げられます。以下に生活の中で簡単かつ楽しく取り組める過ごし方の例を紹介します。

#### 1 適度な運動をする

WHO（世界保健機関）が発表しているガイドラインでは適度な運動が認知症リスクを低下させると言われています。ウォーキングなどの有酸素運動をまずは1日10分程度から始め、慣れたら週5回30分程度を目標にしましょう。

#### 2 指先を使った作業を続ける

編み物や手芸、囲碁や将棋、文章を書くことなど楽しみながら行える趣味や作業を続けましょう。指先を使うことで脳の活性化に繋がります。

#### 3 一日のスケジュールを組み立てて、工夫しながら生活を送る

曜日ごとに行動を変える、家事や用事を済ませるための計画を立てて行動してみることも脳に刺激を与えます。

#### 4 同時に2つのことをやってみる

歩きながら計算やしりとりをする、テレビを見ながら洗濯物をたたむなど、同時に2つのことを行うことが良い刺激となります。

いかがでしたでしょうか？ 生活のなかで一つでも取り入れられることがありましたら、ぜひ活用してください！




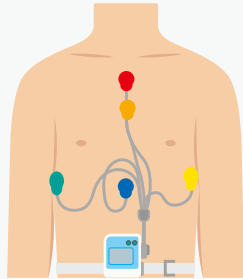
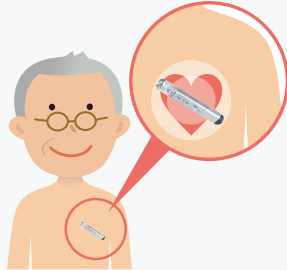

# 臨床検査科 だより

Vol.70

## 心電図検査 2

～心電図いつとるの？  
今でしょ！！～

心電図検査では不整脈が起きていないか、心臓の筋肉に異常がないかがわかります。一般的に病院で行っている12誘導心電図検査は短時間の記録（1分程度）を行っています。記録時には調律（リズム）や波形の形を判読しています。昨今スマートウォッチの普及に伴い、不整脈の異常を早期発見できる時代となりました。そこで今回は、心電図検査の特徴をまとめました。

	12誘導心電計	ホルター心電計	植え込み型ループ心電計	スマートウォッチ (Apple社製)
場所	病院	病院	病院	どこでも
測定時間	数分	24時間	2～3年	30秒
タイミング	医療者の任意の時	装着後常時	自動測定	任意の時
装着	測定時のみ	病院で装着、取り外し	皮下留置	腕時計として装着
イメージ				

### ◆ 12誘導心電図検査との違いについて

#### ● ホルター心電図

機械装着後24時間の日常生活（労作時や飲酒時などを含む）における記録を行い、行動、症状の有無で、不整脈や狭心症との関連を調べることができます。しかし日常生活中での記録のため、体の動きなどからノイズが混入します。そのため電極を取り付けているシールは粘着力が強く、皮膚の弱い方はかぶれやすいというデメリットがあります。軽減するためにクリームで対応しています。

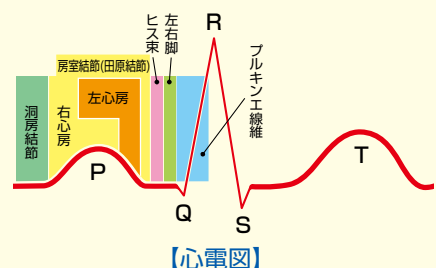
#### ● 植え込み型ループ型心電図

手術で皮下切開し機械を留置後、最長3～4年の持続的な心電図モニタリングが可能です。また遠隔モニタリングが可能で、MRIなどの他検査も行うことができます。失神の原因の特定や脳梗塞の発生が心房細動によるものか診断するために用いられている検査です。しかし機械は2～3年程度で再度摘出する必要があり、費用も他心電図検査に比べると高価です。

#### ● スマートウォッチ (Apple社製)

購入者はいつでもどこでも調べたいときに不整脈の異常がないか調べることができます。そのため動悸や息切れのタイミングで個人により簡便な不整脈検出が可能です。R波と呼ばれる心拍を検出することで不整脈か判断する機械です。そのため心房細動をメインとした不整脈の検出には有用ですが、その他の不整脈や心拍数の50未満、120以上の徐脈や頻脈では判定不能となります。そのため病院での精査は必要になります。お持ちの方はぜひ利用してみてください。

上記のように各機械による検査はメリットやデメリットがあるため通常の12誘導心電図検査で検出困難な不整脈の診断に利用されています。



# 医師紹介 コーナー

当センターの  
医師を  
紹介します!



はじめまして、2022年4月より呼吸器科で勤務させていただいております、黒岩裕也と申します。黒岩という名前は嬭恋など吾妻郡の方に多く、患者様には出身についてご質問いただくことがよくあります。私の祖父方の家系がやはり嬭恋の出身で、私自身は前橋の出身です。前橋市内の中高、群馬大学の卒業後、県内で医師として勤務しております。小中学校では軟式野球、また高校大学は弓道を部活動で取り組み、チーム競技としての連携の重要性や、また武道としての精神、礼節を学びました。

生まれ育った群馬県に少しでも貢献できればと考え、大学卒業後も県内の病院で勤務させていただいております。今までに公立藤岡総合病院や群馬大学医学部附属病院での勤務を経験し、今回初めて高崎総合医療センターでの勤務となりました。まだ不慣れな点もありますが、高崎の地域医療に貢献できるように日々精進してまいります。

私は医師を目指した理由として、医療を通じて患者さんの生活、人生に関わり、また一人一人違う様々な患者さんに向き合っていくことにやりがい、魅力を感じました。呼吸器疾患には気管支喘息や間質性肺炎、肺癌など付き合っていくようなご病気も多く、中には完全に症状がなくならないような場合もあります。治療としては内服薬や点滴治療のみならず、吸入治療、在宅酸素療法や時には気胸や膿胸に対して呼吸器外科と連携し管を留置する胸腔ドレナージ術を行うこともあります。患者さんの声をよく聞き、少しでも症状改善できるように治療内容や日常生活の工夫について相談していければと思います。そして、呼吸器疾患を通して患者さん、ご家族様に寄り添っていけるよう心がけております。気になることや不安なこと、どんな些細なことでも遠慮なくおっしゃっていただけたらと思います。また、当院での診療を通して自分自身も大きく成長していけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



## ●呼吸器科

くろいわ ゆうや  
黒岩 裕也

令和4年4月から内分泌・代謝内科に勤務しております植原正也と申します。私は群馬大学医学部を卒業後、同附属病院で初期臨床研修を修了、同内分泌糖尿病内科へ入局し昨年度までは同附属病院や関連病院にて勤務してきました。当センターでの勤務をはじめて半年弱ではありますが、高崎地域の基幹病院としての重要性や難しさを実感しながら日々の診療に奮闘しております。

内分泌代謝領域は地域の先生方との連携が重要な領域と考えております。特に糖尿病につきまちは周術期管理や状態に応じた相互紹介など双方向での連携が非常に重要となって参りますし、内分泌疾患につきまちは甲状腺疾患や二次性高血圧症など患者数が多く治療薬も一般的なものが多いものの、検査や診断に専門的な設備や薬剤を必要とすることが多い領域です。当科では糖尿病教育入院や地域連携パスを活用した連携診療を行っているほか、各種内分泌学的精査も対応可能ですので、高崎地域の基幹病院として患者さんや地域の先生方のお力になれるよう精一杯努めて参りたいと思います。

至らぬ点も多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## ●内分泌・代謝内科

うえはら まさや  
植原 正也

# 地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと  
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

## 宮下クリニック

### 院長あいさつ

こどもが好きで小児科医になり、開業して25年になります。ひとりひとりのお子さんの健やかな成長と、お子さん・お母さん・お父さんの笑顔のために、小児科のかかりつけ医としてお役に立つことを目指しております。

心配なこと、困ったことなどありましたら、些細なことでもどうぞご相談ください。



### 診療科・病院案内

#### 小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:30)	●	●	●	△	●	▲	△

▲ 土曜午後は15時~17時

群馬県高崎市新保町1377-1 TEL:027-360-5577

<https://www.miyashitaclinic.com/>

こどもの病気全般の診療、予防接種、乳幼児健診、育児相談、発育発達相談などを行っております。よく見・よく聞き・よく触れて診察し、お薬だけではなく、病気の説明・生活指導・環境整備も含めた治療を行うよう心がけております。

精密検査・入院治療・他科の診療が必要な場合は、適切な医療機関にご紹介いたします。

宮下クリニック  
院長

宮下 満恵

## 黒沢病院 / 黒沢病院附属 ヘルスパーククリニック

### 院長あいさつ

当法人は「良質な総合医療サービスの提供」を経営理念とし、保健、医療、福祉の統合をめざし、健診・ドック、外来・入院・透析、介護、健康増進事業など、各種サービスをおこなっています。当法人の特徴は地域社会に根差し、いつでも良質な医療が提供できること、そして良質な医療設備を備え、地域の避難場所としても活用できる災害に強い病院であることです。今後も、当法人の各機能の連携を強化し、近隣の医療機関とも連携しながら、さらなる「総合医療サービス」の実現を目指してまいります。



黒沢病院  
理事長

黒澤 功

### 診療科・病院案内

泌尿器科・泌尿器科(人工透析)・脳神経外科・外科・消化器外科  
乳腺外科・整形外科・形成外科・内科・循環器内科・呼吸器内科  
肝臓内科・内視鏡内科・消化器内科・糖尿病内科・婦人科・皮膚科  
美容皮膚科・リハビリテーション科・歯科・歯科口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	●	●	●	●	△

※診療科目によって曜日・受付時間が異なりますので事前にお問い合わせください。

群馬県高崎市矢中町188 TEL:027-352-1111

脳卒中センターでは24時間365日脳神経外科医師が常駐し、救急診療実績は県内でも高い評価を得ております。医療とリハビリを融合させ、早期の社会復帰を目指す体制を整備しています。開院当時から診療の中心である泌尿器科・透析センターは、複数の泌尿器科医師が常勤し、専門診療を提供しています。またチーム医療の要である、内科、外科と多くの専門科が連携し、地域社会の健康寿命増進を目指しております。

# セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を  
実施しております。  
概要につきましては以下のとおりです。



## 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

## 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科  
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科  
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



## 予約方法

**完全予約制 代表電話：027-322-5901**

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し  
当センターより連絡させていただきます

## 外来時間

**セカンドオピニオン外来時間**（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

## 費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)



## セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

## セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳 神 経 外 科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

# 外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。  
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 <small>予約のみ</small> 植原 大介	木村 彰仁 <small>午前</small> (真下 大和) <small>予約のみ</small>	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) <small>午後・予約専門外来</small>	佐藤 正通 木村 彰仁 <small>午前</small>
栄養食事指導外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	新井 茉莉 (植原 良太)	植原 正也 新井 茉莉	渋沢 信行 <small>午後</small>	渋沢 信行 植原 正也
神経内科	(池田 雅美) 平柳 公利 <small>初診のみ</small>	平柳 公利 椎名 葵 <small>午後</small>	菊池 雄太郎 平柳 公利 <small>初診のみ</small>	丸山 琴音 (古田 夏海) <small>午後・新患外来</small>	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 神山 花凛 <small>午前</small>	細野 達也 内田 恵 <small>午後</small>	田口 浩平 黒岩 裕也	中川 純一 板井 美紀	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 都丸 翔太 (石原 弘) <small>午後</small>	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 都丸 翔太 <small>午後</small>	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 成清 弘明 (石原 弘) <small>午後</small>	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 (工藤 智洋) <small>第2,4週午後</small>	星野 崇 佐野 希望 鍋木 琢也 古澤 愛望 古市 望 (岡野 祐大) <small>第1,3,5週午前 第2,4週午前</small>
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 成清	安岡 / 増田 / 鍋木	上原 / 佐野 / 都丸	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	大田 昌樹 村田 智行 大駒 直也 <small>第1,3週午前</small>	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) <small>再来</small>	広井 知歳 大田 昌樹 羽鳥 直樹 <small>午後・不整脈外来</small>	福田 延昭 高橋 洋右 千吉 長彩 (金澤 紀雄) <small>第1,3週午前 第2,4週再来</small>	大田 昌樹 小林 紘生 柴田 悟 <small>第2,4週午後・ペースメーカー外来 午前・通常 / 午後・不整脈外来</small>
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
心不全予防外来		第2・第4午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 御任 紫野 (荒川 篤康) <small>午後</small>	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 坂本 康大 (神尾 綾乃) <small>午後は第1,2,3,5週のみ 第4週午後</small>	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) <small>第2,4週午後</small> <乳児健診> <small>午前</small>	倉田 加奈子 植原 実紅 柴塚 拓巳 (西澤 拓哉) <small>午後</small> (岩脇 史郎) <small>午前</small>	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 永井 裕介 (浅見 雄司) <small>午後は第1,2,4,5週のみ 第3週午後のみ</small>
小児外科		(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第1,3週午後</small>		
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳 <small>午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来</small>	小川 哲史 星野 万里江 小川 哲史 <small>午前・通常 / 午後・下部消化器専門外来</small>	岡田 幸士 生方 泰成 <small>午前・通常 / 午後・上部消化器専門外来</small>	平井 圭太郎 牛久保 陸生 <small>午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来</small>	宮前 洋平 井田 晃頌 <small>午前・通常 / 午後・下部消化器専門外来</small>
栄養サポート外来					
禁煙外来					
ストーマ外来			第2,4週午後・予約	予約	

## 1 外来診療受付時間

8:30～11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでのお薬をご持参ください。

## 2 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・  
連携センターから  
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、  
地域医療支援・連携センターを通じた  
事前予約にご協力下さい。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	栗原聰太 柴田康博 <small>午前</small>	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前:通院/午後:不妊外来</small>	交代制
疼痛緩和内科	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 鯉淵幸生 <small>午前</small>	田中俊行 (荻野美里) <small>第2,4週午後</small> (田邊恵子) <small>第1,3,5週午後</small>	田中俊行 高他大輔 <small>午前</small>
乳腺・内分泌外科	徳田尚子 成澤瑛理子 <small>午前</small>	高他大輔 徳田尚子 成澤瑛理子 <small>午前</small>	高他大輔 徳田尚子 <small>午前</small>	交代制 <small>第1,3,5週午後</small>	徳田尚子 成澤瑛理子 <small>第1,3,5週午前</small> <small>第2,4週午前</small>
心臓血管外科	<手術日>	交代制	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 <small>午後</small>	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 <small>午後</small>	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 齋藤健一 加地卓万	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 加地卓万	新井厚 遠藤史隆  <手術日>	大澤敏久 齋藤健一 一ノ瀬剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) <small>午前</small>	栗原秀行 上原顕仁 <small>午前</small> (茂木精一郎) <small>第2,4週午前</small>	<手術日> 上原顕仁 <small>午前</small> 西尾麻由 <small>午前</small>	笹口修男 上原顕仁 <small>午前</small> 西尾麻由 <small>午前</small>	佐藤晃之 上原顕仁 <small>午前</small> 西尾麻由 <small>午前</small>
皮膚科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 大枝涼平	<産後健診>	峰村成 (金井眞理) <small>午前</small>	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 <small>紹介・予約</small>	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <small>&lt;手術日&gt;</small>	笠井健一郎 <small>&lt;手術日&gt;</small>	笠井健一郎	笠井健一郎 <small>&lt;手術日&gt;</small>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 弓崎晃 <small>午前</small> <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 <small>紹介・予約</small>	永島潤 大高建 富澤建斗 <small>紹介・予約</small> <small>午前</small>
歯科口腔外科	柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	薬師寺孝 <small>紹介・予約</small>	薬師寺孝 柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>
新患外来	薬師寺孝 <small>紹介・予約</small>		柴野正康 <small>紹介・予約</small>	交代制	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 木村将典 倉持真理子 <small>第1,3,5週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 <small>紹介・予約</small> (荒井亮・辻野啓一郎) <small>第2,4週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 木村将典 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 木村将典 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 倉持真理子 <small>紹介・予約</small>

( )の医師は非常勤です。

令和4年10月1日現在

### 3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

### 4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル:027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX:027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

# 男の顔は履歴書か？

## 院長閑話

vol.19



病院長 小川 哲史

NHK大河ドラマの「鎌倉殿の13人」がすごい人気です。源頼朝というと、子供の頃から教科書で見慣れた肖像画が目につかびます。黒い束帯姿で、口と顎に髭をたくわえ、冠を被り、笏を持ち、凛として冷徹なまなざし。威厳に満ち、まさに鎌倉幕府、武家政治の創設者としての強い統率力を感じます。しかし、この有名な頼朝の肖像画は実は他の人で頼朝ではないという説があり、今の教科書には載っていないそうです。また源義経というと牛若丸の幼少期からの美少年、また成長後も絶世の美男子で、しかも軍事の天才ながら御家人の讒言などもあり悲劇の最期を遂げた永遠のヒーロー、のイメージです。しかし、その実際の肖像画は全く美少年とは言い難い容貌です。西郷隆盛の良く見る肖像画や上野の銅像も「本人に似ていない」とも言われます。歴史上の人物の肖像画は、われわれ後世の人間にその人物の強いイメージを作ってしまうので、その描き方や特定はいろいろと難しいですね。

その点、写真はある人物のある瞬間を正確に写します。有名な文人の顔として、顎に手を当て眼光鋭い芥川龍之介、頬杖をつき憂鬱そうな太宰 治、喪章をつけ熟考している夏目漱石などがすぐ思い浮かびます。先日読んだ本に書かれていましたが（真偽のほどは分かりませんが）、笑顔の漱石の写真が一枚だけあって、本人がその写真が世に出ることを大変嫌がっていたそうです。漱石の一面を見たようで、なんだか微笑ましいです。笑顔の漱石！ぜひ見たいですね。

また、写真から受けるイメージと実際の人柄、性格がかなり異なる人も多く、なかなか興味深いです。坊主頭で難しい横顔をした正岡子規は、実は大変行動的で野球が大好き、陽気な楽道家だったようですし、フェルトのソフト帽をかぶった中原中也、まさに純粹無垢で可憐な詩人の印象ですが、実生活では酒乱で喧嘩っ早い性格だった、など。

「文士の時代」という写真文集（作者：林 忠彦）があります。昭和時代の日本の文豪たちを撮ったモノクロ写真集ですが、これがまた面白い。写真撮影時には煙草が必需品のようで、ほとんどの作家が口にくわえているか手に持っています。レンズを通してその作家と時代が見えてきて楽しめます。なかでも最高傑作は、表紙にもなっていますが、散らかり放題の書齋、今でいうゴミ屋敷のなかで執筆中の、カメラを見つめる坂口安吾でしょうか。

さて、アメリカ大統領リンカーンの名言集には「40歳を過ぎたら自分の顔に責任を持つ」というものがあります。また昭和の頃には「男の顔は履歴書、女の顔は請求書」というフレーズが流行りました。しかし、現代は男性も美顔を目指し、やれエステ、やれ美容…、お手入れに余念がないようで、ホストも人気な職業らしい。また、スマホで撮った写真など誰でも簡単に修正可能で、いくらでも美男美女に加工できるそうです。昔とは全く違った意味で、現代は「男も女も顔は履歴書、そして男女ともに顔は多額の請求書」でしょうか。

(10月13日)

## INFORMATION

行事などのお知らせ



高崎総合医療センター  
公式Facebook

### ●第6回高崎総合医療センター 地域連携学術セミナー

日時：2022年11月4日(金) 18:30～20:15  
演者：医療法人三和会 東鷲宮病院 循環器・血管外科  
褥瘡・創傷ケアセンター 院長 水原 章浩先生  
たけうち静脈瘤クリニック院長 武内 謙輔先生

対象：医療従事者  
高崎総合医療センターよりWEB配信  
※申し込み必要

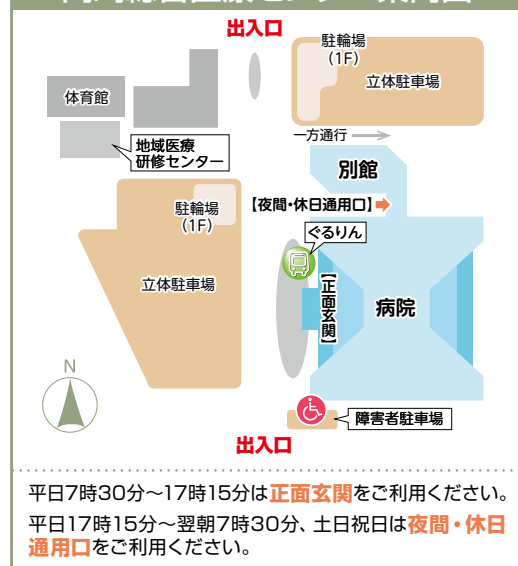
### ●第29回地域連携症例検討会

#### 『呼吸器内科領域疾患の診断と治療の連携』

日時：2022年11月18日(金) 18:45～20:00  
演者：高崎総合医療センター 呼吸器内科医師 内田 恵  
高崎総合医療センター 呼吸器内科医師 板井 美紀  
高崎総合医療センター 呼吸器内科医師 田口 浩平

対象：医療従事者  
高崎総合医療センターよりWEB配信  
※申し込み必要

### 高崎総合医療センター案内図



## 編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。  
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)